

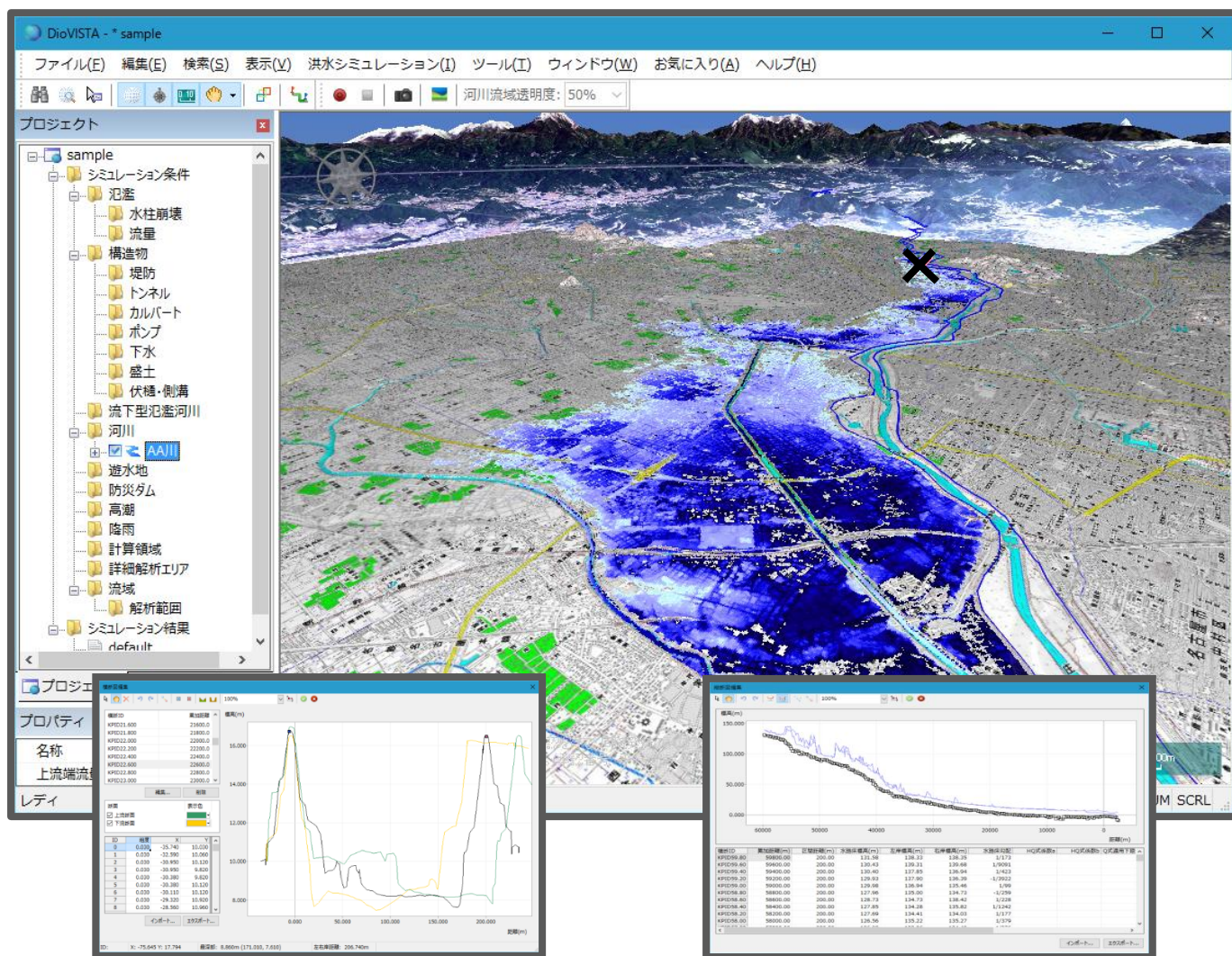
リアルタイム洪水シミュレータ

HITACHI

DioVISTA/Flood

激甚化する水害に、デジタル技術で備える。

DioVISTA/Floodは、高速・高精度な洪水・浸水シミュレーションに加え、AIを用いた河川横断データ作成などの技術を活用し、防災・減災業務の高度化と効率化を支援します。



河川横断図編集画面

高速解析

当社の独自技術で氾濫流を高速に解析
手軽に何度でもシミュレーションできます。

簡単操作

解析に必要なデータを地図データから自動生成
堤防決壊や盛土、トンネルの場所を地図上に設定できます。

マニュアル準拠

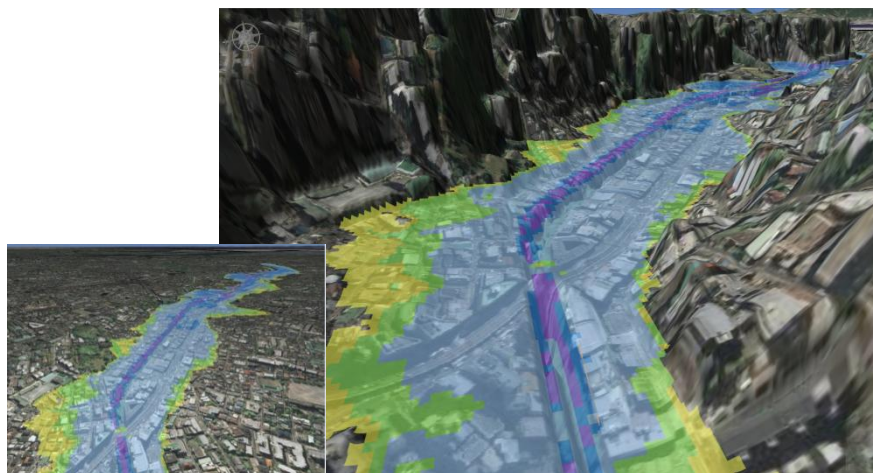
国土交通省のマニュアルに準拠

洪水浸水想定区域図作成マニュアル（第4版）、
浸水想定区域図データ電子化ガイドライン（第5版）に準拠

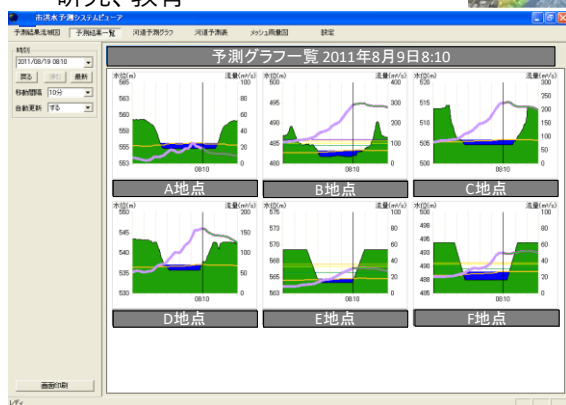
株式会社 日立パワーソリューションズ

適用分野

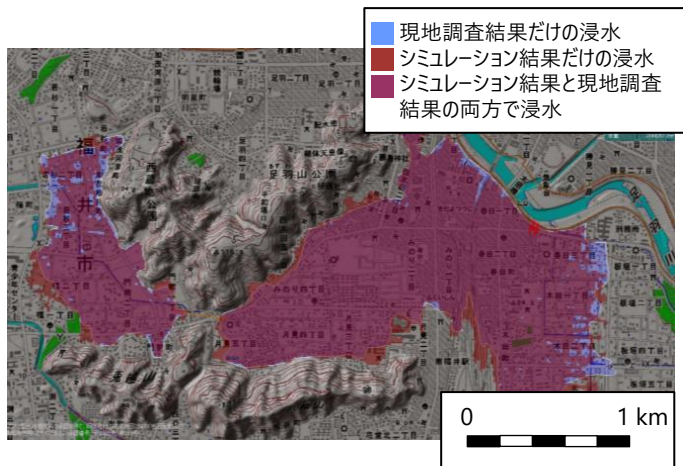
- 土木
 - 浸水想定区域図の作成
 - 水害原因の推定
 - 洪水時のダム操作支援
- 地方自治体
 - 河川水位・浸水域の予測
 - 避難対象地区の決定支援
- 損害保険
 - 想定最大損失額の推定
 - 事業継続計画の策定支援
- 鉄道、電力事業
 - 設備の安全性の把握
- 研究、教育



▲ 浸水域表示例（右上は、鉛直方向を5倍強調して表示）



▲ 河川水位の予測画面例



▲ 実際の浸水域(現地調査)とシミュレーション結果の比較
(平成16年7月福井豪雨)

主な機能

モデル	分布型流出モデル
	1次元不定流モデル（河川）
	2次元不定流モデル（氾濫原）
分析機能	堤防決壊モデル
	ハザードマップの作成
	浸水家屋数の計上
入力形式	KML, shapefile, Text, CSV, ASC, NetCDF
出力形式	KML, shapefile, Text, CSV, ASC, NetCDF, WMV, MPEG-4



注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

株式会社日立パワーソリューションズ

<https://www.hitachi-power-solutions.com>

デジタルエンジニアリング本部 システムインテグレーション部
〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-2 神田第一生命ビル3F
TEL. (03) 5297-0511

フロント営業統括部 東日本営業部
〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目18番13号 秋葉原ダイビル25F
TEL. (03) 6285-2970



▲
最寄りの営業拠点は
こちら

● 製品仕様は改良のため変更することがあります。

項目	動作環境
CPU	1 GHz 以上で 2 コア以上の64 bit 互換プロセッサ
メモリ	4GB 以上
HDD	100GB 以上の空き容量
ビデオカード	32MB 以上のハードウェアアクセラレータ 対応 で 1024×768×16 bit 以上
ディスプレイ	1024×768×32 bit カラー以上
その他	ホイール付マウスを推奨 USBポート（ライセンス認証USBキー用）
OS	Microsoft® Windows® 11 (64 bit)

● お問い合わせは、以下にご連絡ください。